

社団法人 糖業協会所蔵

# 植民地期台湾産業・経済関係史料 マイクロ版集成 全2部

編集：久保 文克（中央大学商学部助教授）

出版：丸善株式会社

第一部：糖業連合会関係史料 34リール

第二部：台湾総督府発行史料ほか 17リール

セット特価 ¥1,020,000 (税別)

## 編集者のことば

中央大学商学部助教授 久保 文克

社団法人糖業協会には、協会の前身である糖業連合会関係の史料のほか、台湾総督府発行文書や戦前の製糖業関連の貴重な文献が数多く所蔵されています。初めてこれら史料を目の当たりにした私は、その史料価値の大きさと史料整備がなされていない状況とのギャップを残念に思ったものです。幸い私自身が史料整備に携わることになり、約2年の歳月を経て整備作業はほぼ完了するにいたりました。今回頒布される「植民地期台湾産業・経済関係史料マイクロ版集成」は、こうした史料整備の結果もっとも重要と思われるものをマイクロ化するものです。

今回頒布されるマイクロフィルムは大きく二つの部分から構成されており、「第一部：糖業連合会関係史料」と「第二部：台湾総督府発行史料ほか」に分かれています。第一部は戦前の糖業連合会関係の議事録であり、具体的には「協議会会議案」、「協議会議案決議」、「協議会決議」、「決議録謄本」と「台湾支部議事

録」を主たる内容としています。また、「極秘文書」、「秘文書」、「理事会関係」、「甘蔗対抗作物価格並労銀調目録」、「日蘭会商関係」、「三井物産砂糖部報」といったテーマ別に整理した史料も含まれています。

一方、第二部には、今日入手することが困難となっている台湾総督府文書や糖業協会にのみ存在する台湾総督府役人のオリジナルの文書といった、いまだ復刻されていない一級の史料もおさめられており、戦前植民地台湾における製糖業を中心とする民間（糖業連合会）・総督府双方のきわめて貴重な史料群を公開するにいたりました。第二部は台湾総督府発行文書、各種調査会の議事録、糖業連合会発行文書、台湾史、見聞録などから構成され、中心をなす台湾総督府発行文書には「農業基本調査」、「旧慣調査」、糖業関係文書に加え、糖業協会だけが所蔵する「中瀬文書」や「酒井文書」といった貴重なオリジナル史料も含まれています。



## 推薦します

由井常彦 (文京女子大学教授)

製糖業は、今日ではそれほど重視されていないが、明治時代から1950年代までは非常に重要な産業であった。とくに明治末期から戦前の昭和期においては、食品のなかで最大の工業であり、綿糸・紡績業とならぶ軽工業の代表的な部門であった。大日本製糖、台湾製糖、明治製糖および塩水港製糖の四社は、日本の大企業のなかでも有力なメーカーであった。これら諸会社を中心とする製糖業の発展は、戦略と企業成長競争と協調ないし合併・買収、技術と革新、輸出と海外進出、原料調達、資金調達など、どの側面においてもすこぶる興味にみちた歴史過程であった。

こうした大会社中心の産業であったから業界団体の糖業会館には、膨大な史料・文献や多くの美術品などが収集され、地下室に保存されてきた。今回、製糖業関係文書がすべてマイクロフィルムに収録され、公刊されることになった。ここには、上記の諸側面はもとより、企業の経営、内外の調査、政府の政策、国際関係と貿易など、関係諸史料が網羅的に収録されている。原料の粗糖産地の植民地台湾の、開発関係の文書は、かつてはマル秘扱いであって、非常に貴重な記録であるが、公開されることになった。一つの産業についての史料が、これほどまとまった形で一挙に世に出た事例はかつてなかったといえる。

藤山覺一郎理事長の英断に謝し、大いに研究の資としたいものである。

森川英正 (豊橋創造大学教授)

このたび、丸善株式会社より、『戦前期台湾産業・経済関係史料マイクロ版集成』が出版、発売される。リール数は51本というから、豊富な史料が収録されている。

編集者は中央大学商学部助教授の久保文克氏である。久保氏は、長い間、戦前日本の製糖業研究に従事され、その中で、台湾における原糖栽培から精糖までの生産過程とその主体となった準国策会社ともいべき製糖会社のマネジメントの実態を解明された。『植民地企業経営史論』(日本経済評論社、1997年)という輝かしい業績が存在する。

この久保氏が、糖業会館に所蔵されている膨大な史料の調査と整理に取り組み、今回のマイクロフィルムによる出版に漕ぎつけられた。氏は、専門領域である糖業と台湾以外にも広い関心分野を擁する経営史学者であり、その鋭い学問的問題意識が、今回の出版物を雑然とした史料の集積に終わらせなかった。

史料は多岐にわたる。第一は、1960年ごろまで日本の重要産業であった製糖業の歴史にかんするもので、糖業連合会という業界団体の動態をも知ることができる。第二は、日本植民地時代の台湾の歴史にかんするもので、原糖栽培を含む農業事情や日本の植民地統治の研究に欠かせない。台湾総督府発行の非公開史料も多い。第三は、日本の瓜哇(ジャワ)糖をめぐる日蘭会商にかんするもので、日本の「南進政策」研究にも役立つことであろう。

糖業会館所蔵史料の調査にさいしては、文京女子大学教授由井常彦氏の力添えが介在したと聞く。日本経営史研究の第一人者由井氏と社団法人糖業協会の協力の下に、久保氏が完成した価値あるこの出版を心から推薦したい。



# 所蔵史料の公開を迎えて

社団法人糖業協会  
理事長 藤山 覺一郎

社団法人糖業協会は、公益事業の一環として、戦前の糖業連合会を中心とした史料整備事業を中央大学久保文克助教授(当協会嘱託)のもとに行ってまいりましたが、マイクロフィルムという形で丸善株式会社より頒布されるにいたりましたことを、糖業協会理事長として心よりうれしく思っております。長い年月が経過した史料を保存するという観点からいたしましても、また、戦前の貴重な史料を公開し、多くの研究者の方々に活用いただけるという観点からいたしましても、今回のマイクロ化の意義は大きなものと考えております。

マイクロ化される糖業協会所蔵史料は、明治43年9月に「台湾糖業連合会」としてスタートし、「糖業連合会」(大正9年10月)、「日本糖業連合会」(昭和10年5月)へと名称を改めていった糖業連合会の協議会および台湾支部議事録が中心ですが、今日入手が困難であると聞き及んでおります台湾総督府発行史料や、糖業協会だけが所蔵する元総督府役人のオリジナル文書なども合わせてマイクロ化いたしました。

今回の史料公開は、さまざまな研究分野のお役に立つことを願っておりますが、とりわけ近代日本資本主義発展の担い手の一つであった製糖業を、歴史的に再認識していただける機会となりますならばまことに幸いです。史料所蔵機関の責任者として、「植民地期台湾産業・経済関係史料マイクロ版集成」をご推薦申し上げます。

## 収録資料の一例

第一部：糖業連合会協議会議事録類、連合会理事会議事録類、連合会所収極秘・秘文書、連合会台湾支部議事録、三井物産砂糖部報

第二部：台湾総督府農業基本調査書、旧慣調査(台湾旧慣制度調査一斑、臨時台湾旧慣調査会第一部調査報告書)、中瀬文書(酒精ニ関スル諸調査表、ガソリン代用トシテノ酒精、台湾ニ於ケル農家ノ原料手取金ノ割合、製糖会社事業経営ニ関スル成績表、農業苦力賃銀調、原料価格決定ノ形式及発表ノ時期、朝鮮総督府砂糖消費税改正、朝鮮総督府産業調査ニ関スル件)、台湾総督府文書(台湾糖業ノ発展力経済界ニ及ホシタル影響、台湾糖業一斑、臨時台湾糖務局年報、民政局殖産報文)、各種調査会議事録(台湾総督府臨時産業調査会会議録・答申書、熱帯産業調査会答申書、米穀調査会議事録)その他(新渡戸稲造「糖業改良意見書」、拓務省「糖業沿革誌」、相良捨男「経済上より見たる台湾の糖業」中川虎之助「糖業政策参考書集」、藤山雷太「台湾遊記」、竹越与三郎「台湾統治志」、ほか



社団法人 糖業協会蔵

# 植民地期台湾産業・経済関係史料 マイクロ版集成／全2部

編集：久保 文克（中央大学商学部助教授）

出版：丸善株式会社

16ミリマイクロフィルム 解題・目録

全51リール セット特価 ¥1,020,000（税別）

第一部：糖業連合会関係史料 34リール 頒価 ¥748,000（税別）

第二部：台湾総督府発行史料ほか 17リール 頒価 ¥374,000（税別）

日清戦争の結果、わが国の領土となった「台湾」において、台湾総督府が打ち出した産業振興策の中心は近代的製糖業の育成にあり、明治30年代後半から40年代初頭にかけて、台湾には内地資本による大規模な近代的粗糖工場が次々に設立されるにいたった。また明治43年には、台湾の粗糖会社が「台湾糖業連合会」（その後「糖業連合会」、「日本糖業連合会」と改称）を結成し、第一次世界大戦とその後の戦後恐慌、そして満州事変、日中戦争を経て太平洋戦争の集結にいたるまで、カルテル団体として製糖業界の繁栄を支えていった。

本史料集の第一部では、上述した「糖業連合会」の活動を網羅する協議会議事録ほかを収録し、近代的製糖業発達史の全貌を詳細かつ総合的に明らかにするとともに、内地糖業資本による本格的対外進出の歴史を浮き彫りにしている。また第二部では、台湾総督府が実施した農業基本調査ほかの発行文書に加え、総督府役人の個人文書などの未公開史料も豊富に収録し、植民地期台湾の実態経済のみならず、甘蔗や米を中心とした農業振興策決定にいたる経緯をも明らかにしている。

最も長期にわたり植民地統治された台湾の数少ない史料として、経営史・経済史を中心とする社会科学全般の植民地研究者、あるいは戦前の代表的業界団体であった糖業連合会の記録として、カルテル史研究者に広くお薦め申し上げます。

発売元：丸善株式会社

 **MARUZEN**

丸善株式会社 [学術情報ソリューション事業部 企画開発センター]

〒105-0022 東京都港区海岸 1-9-18 国際浜松町ビル 7F

TEL 03-6367-6078 FAX 03-6367-6184 <http://www.maruzen.co.jp/>

営業部・支店・営業所＝横浜・八王子・大宮・筑波／札幌・盛岡・仙台・名古屋・岐阜・金沢・京都・大阪・神戸・岡山・松山・広島・福岡・長崎・熊本・沖縄／ニュージャージー